



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 ワタベウエディング株式会社

コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 花房 伸晃

問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部長

(氏名) 平木 親臣

TEL 075-778-4111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	20,677	△0.6	△247	—	△704	—	△611	—
28年3月期第2四半期	20,806	1.1	△982	—	△891	—	△1,104	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,159百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △1,240百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△61.73	—
28年3月期第2四半期	△111.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	18,812	—	9,147	—	—	48.3
28年3月期	20,811	—	10,342	—	—	49.5

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 9,081百万円 28年3月期 10,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 平成29年3月期の期末配当予想額は未定としております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,500	1.4	300	104.1	300	44.0	100	112.8	10.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	9,909,400 株	28年3月期	9,909,400 株
29年3月期2Q	326 株	28年3月期	326 株
29年3月期2Q	9,909,074 株	28年3月期2Q	9,909,074 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成28年11月25日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における運営状況と経営成績について、「リゾート挙式」におきましては、8月1日を「リゾートウェディングの日」と制定し、その記念として「リゾ婚Cafe」を期間限定でオープンするなど、引き続きリゾート挙式を啓蒙し、マーケットの拡大を図ってまいりました。

平成28年8月には「京都四条店」をリニューアルし、挙式から衣裳までの一貫したサービスの提供ができることになったことで、より利便性の高い店舗として運営が可能となったほか、平成29年春には全面改装するプリンススイキの最上階に、ハワイで唯一のスカイビューチャペルとなる「ラニレアチャペル」のオープンを予定し受注を開始するなど、お客様により高い支持を得られるよう努めております。

しかしながら、競争の激化や景気の先行き不透明な状況であること等により、挙式取扱組数は減少する結果となりました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、主力である婚礼事業に加えて、一般宴会事業や宿泊事業の強化に取り組んでまいりました。

目黒雅叙園では、平成28年9月に「和」をコンセプトとした客室のフロアリノベーションやブライダルサロンの改装等、積極的な投資活動を行いました。

メルパークでは、「平成28年熊本地震」の影響等により前年同四半期比で挙式取扱組数は減少したものの、一般宴会や宿泊部門が好調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高20,677百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業損失247百万円（前年同四半期営業損失982百万円）、経常損失704百万円（同 経常損失891百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失611百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失1,104百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

① リゾート挙式

挙式取扱組数が減少したものの、1組当たり単価が増加したことにより、売上高は8,436百万円（前年同四半期比0.3%増）となり、利益面につきましては、挙式運営コストや販売管理費の削減を進めたものの、セグメント損失は184百万円（前年同四半期セグメント損失568百万円）となりました。

② ホテル・国内挙式

挙式取扱組数が減少したことなどから、売上高は12,240百万円（前年同四半期比1.3%減）となり、利益面につきましては、原価や販売管理費の削減を進めたものの、セグメント損失は131百万円（前年同四半期セグメント損失404百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,589百万円減少し、7,739百万円となりました。これは主に借入金の返済により現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ408百万円減少し、11,073百万円となりました。これは主に建物及び構築物が減少したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,998百万円減少し、18,812百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ872百万円減少し、7,503百万円となりました。これは主に借入金の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、2,161百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ803百万円減少し、9,665百万円となりました。

純資産残高は前連結会計年度末に比べ1,194百万円減少し、9,147百万円となりました。これは為替換算調整勘定や繰延ヘッジ損益の減少等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが487百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが762百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが515百万円の支出となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、4,192百万円（前年同四半期は4,108百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は487百万円（前年同四半期比75.1%増）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失673百万円等があったものの、減価償却費677百万円、前受金の増加573百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は762百万円（前年同四半期比163.1%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得988百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は515百万円（前年同四半期比37.6%増）となりました。これは主に長期借入金の返済562百万円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、業績は概ね計画通り推移していることから、平成28年5月11日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,311	4,196
売掛金	1,636	1,583
商品及び製品	244	241
仕掛品	15	12
原材料及び貯蔵品	463	409
その他	1,691	1,326
貸倒引当金	△33	△30
流動資産合計	9,329	7,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,990	3,838
土地	2,023	1,918
その他(純額)	1,196	1,247
有形固定資産合計	7,210	7,005
無形固定資産	573	538
投資その他の資産		
差入保証金	2,669	2,663
その他	1,031	869
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,697	3,529
固定資産合計	11,481	11,073
資産合計	20,811	18,812
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,433	1,274
短期借入金	933	525
前受金	2,208	2,736
賞与引当金	508	449
その他	3,292	2,518
流動負債合計	8,376	7,503
固定負債		
長期借入金	125	62
退職給付に係る負債	1,011	1,062
資産除去債務	586	572
その他	368	463
固定負債合計	2,091	2,161
負債合計	10,468	9,665

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	2,504	1,843
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,718	10,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	69
繰延ヘッジ損益	△260	△383
土地再評価差額金	△903	△903
為替換算調整勘定	655	228
退職給付に係る調整累計額	14	14
その他の包括利益累計額合計	△425	△976
非支配株主持分	49	66
純資産合計	10,342	9,147
負債純資産合計	20,811	18,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	20,806	20,677
売上原価	7,378	6,803
売上総利益	13,428	13,874
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	4,892	4,801
賞与引当金繰入額	307	390
退職給付費用	78	93
賃借料	2,593	2,494
その他	6,539	6,341
販売費及び一般管理費合計	14,410	14,121
営業損失(△)	△982	△247
営業外収益		
為替差益	43	—
その他	74	39
営業外収益合計	118	39
営業外費用		
為替差損	—	476
その他	26	20
営業外費用合計	26	496
経常損失(△)	△891	△704
特別利益		
固定資産売却益	—	48
関係会社株式売却益	—	60
その他	—	2
特別利益合計	—	111
特別損失		
固定資産除売却損	9	43
施設店舗整理損	1	34
その他	—	2
特別損失合計	10	80
税金等調整前四半期純損失(△)	△901	△673
法人税等	198	△69
四半期純損失(△)	△1,100	△604
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	7
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,104	△611

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,100	△604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△150	△123
為替換算調整勘定	19	△427
退職給付に係る調整額	△9	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△4
その他の包括利益合計	△140	△555
四半期包括利益	△1,240	△1,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,242	△1,162
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△901	△673
減価償却費	792	677
施設店舗整理損	1	34
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△60
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17	△51
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	38	54
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	3	1
為替差損益(△は益)	7	301
売上債権の増減額(△は増加)	108	45
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20	△9
仕入債務の増減額(△は減少)	△41	△123
未払金の増減額(△は減少)	86	△186
前受金の増減額(△は減少)	209	573
その他	24	△311
小計	289	269
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△3	△1
法人税等の支払額	△123	△283
法人税等の還付額	113	501
営業活動によるキャッシュ・フロー	278	487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	—	16
有形固定資産の取得による支出	△360	△988
有形固定資産の売却による収入	1	270
無形固定資産の取得による支出	△58	△97
差入保証金の差入による支出	△16	△51
差入保証金の回収による収入	128	25
その他	15	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△289	△762
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△90	100
長期借入金の返済による支出	△262	△562
非支配株主からの払込みによる収入	—	14
配当金の支払額	—	△49
その他	△21	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△374	△515
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△324
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△389	△1,114
現金及び現金同等物の期首残高	4,497	5,307
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,108	4,192

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	8,407	12,398	20,806	—	20,806
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,148	59	3,208	△3,208	—
計	11,556	12,458	24,015	△3,208	20,806
セグメント損失(△)	△568	△404	△972	△9	△982

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△9百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	8,436	12,240	20,677	—	20,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,153	71	3,224	△3,224	—
計	11,589	12,311	23,901	△3,224	20,677
セグメント損失(△)	△184	△131	△316	69	△247

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額69百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。